

記入例

【研究業績に重点を置いた評価】

研究業績目録

氏名 ○ ○ ○ ○

2010年○月○日現在

著書

- 1) 筑波花子, 茨城太郎『○○に関する研究』○○出版社, 2014年, 330頁。
- 2) 筑波花子「○○に関する研究」(○○○研究会編『○○の分析』○○大学出版部, ○○～○○頁) 2013年。

査読付学術雑誌論文

- 1) 筑波花子「○○の考察」(『○○論文集』12巻3号), [印刷中]。
【証明書を添付すること】
- 2) Tsukuba Hanako, Taro Ibaraki, “Japan and China, 1900-1910,” *Journal of Asian Studies*, Vol. 2, No. 4, pp. 30-41, April 2013.

査読付国際会議論文

- 1) Tsukuba Hanako, “On the Disclosure of Diplomatic Records,” *Proceeding of 17th International Congress of East Asian History*, Macao, April 2012, 14 pages 【PDF版】。

その他 著書○件 査読付学術雑誌論文○件 査読付国際会議論文○件
ほか(○○等)○件

※部局細則で定める研究業績に該当するものについてカウントすること。

総説, 翻訳等であっても研究業績とみなされないものについては含めないこと。

「研究業績目録」の記入要領

【研究業績に重点を置いた評価】

- 1 署名を除いて、ワープロ等で作成すること。(A4判用紙を用いて、上下左右とも2cm程度の余白をとること。手書きの場合については、黒インク又は黒ボールペンを使用し、楷書体で記入すること。)
なお、外国籍の教員等で日本語による記入が困難な場合は、英語で記入すること。
- 2 年号は西暦で記入すること。
- 3 「研究業績目録」には、著書、原著論文等のほか、部局細則で定める研究業績(作品(芸術)、記録(スポーツ等)等)を含む。なお、研究業績の定義については部局毎に異なる場合があるため、予め提出先の組織に確認をすることが望ましい。
- 4 この「研究業績目録」のほかに、「研究業績」の全リスト(様式任意、参考様式を参照)を別途作成のうえ、提出すること。
- 5 「研究業績目録」には、最近5年間のものの中から、重要と思われる業績を合わせて5件(本学教員の昇任人事の場合は、現職就任時の審査に使用した業績を使用することはできない。)記載すること。
ただし、最近5年以前の研究業績であっても、候補者の業績の中で特に重要な位置付けができるものは1件に限り含めることができる。
- 6 著書は、著者リスト、著書名、発行所、頁、発表年の順に記載し、著者リストの本人の氏名に下線を施すこと。分担執筆の場合は、著書名の前に分担した章名等を記入すること。
- 7 学術論文は、著者リスト、論文名、雑誌名、巻、頁、発表年の順に記載し、本人の氏名に下線を施すこと。共著者が多数の場合は適宜省略し、何人の共著の何番目の著者か分かるようにすること。
- 8 印刷中のものは「印刷中」と明記したうえで記載できる。この場合には、発行者の刊行(出版)証明書、又は査読等を経て正式に受理されたことが証明できる書類を添付すること。(記入例を参照)
- 9 著書、学術論文以外で部局人事委員会が認める研究業績(作品(芸術)、記録(スポーツ等)等)を記載する場合は、種類を明示して記載し、作品名称、種類、発表年等を記載すること。
- 10 別記様式第4(第3条関係)の「その他」の欄における研究業績の分類は、それぞれの組織の分類に従って記述してよい。
- 11 「記入例」について
記入例に厳密に従わなくとも、業績の特定ができ、かつ、その量及び発表時期が明記できていれば、それぞれの組織や研究分野の様式に従って記載してよい。